

1. 活動テーマ

子育て支援

2. 計画書に掲げた重点調査事項

・子育てに関わる施設・組織の運営状況等を調査

3. 活動実績

○所管事務調査

- 1) 平成29年5月18日(木)～19日(金)
内容：①各課における事務事業の内容及び執行状況について
②前年度調査結果に対する措置状況について
- 2) 平成29年6月26日(月)～28日(水)
内容：①町内小学校の管理運営状況について
②学校からの要望について
- 3) 平成29年7月18日(火)・20日(木)
内容：①町内保育所の管理運営状況について
②町内保育所からの課題及び要望について
③船迫こどもセンターの管理運営状況について
④船迫こどもセンターからの課題及び要望について
⑤三名生児童館、西住児童館の管理運営状況について
⑥三名生児童館、西住児童館からの課題及び要望について
- 4) 平成29年10月17日(火)～18日(水)
内容：①町内中学校の管理運営状況について
②学校からの要望について
- 5) 平成30年1月16日(火)～17日(水)、25日(木)
内容：①放課後児童クラブの管理運営状況及び課題について
②仙台大学内預かり保育及び子育て支援事業(木育事業など)について(行政視察)
③柴田町地域包括支援センターの活動状況と課題について(行政視察)
④学校給食センターの管理運営状況及び課題について
⑤教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について(平成28年度対象)
⑥(仮)柴田町子どもの心のケアハウス事業について
⑦自立支援相談員からみた児童・生徒の現状について

※調査結果は別紙一覧表のとおり

○先進地行政視察

- ・視察日：平成29年10月31日(火)～11月2日(木)
- ・視察先：①岡山県和気町(子育て支援について(無料の公営塾、「英語特区」の導入、和気町子ども塾、放課後学習支援など))
②岡山県総社市(「子育て王国まちづくり事業」(事業内容、現地視察など))

4. 委員会としての成果及び反省

当初計画で予定していた子育てに関わる施設等の現状については、おおむね把握できた。
小中学校から要望のあった事項については、委員会で指摘し、ほぼ対応することができた。
今後は、先進地視察先の和気町や総社市で取り組んでいる事業を参考に、柴田町として取り組める事業を検討していく。
また、仙台大学を視察したことにより、子育て支援での仙台大学との連携の可能性が見えてきた。
来年度も引き続き、子育て支援について、調査・検討を進めていくこととした。

文教厚生常任委員会 所管事務調査結果一覧表（平成 29 年度）

調査日	調査所管課	調査結果内容
5月18日(木) ～19日(金)	子ども家庭課	○ひとり親家庭等日常生活支援の平成28年度利用実績がなかったのは、利用条件がわかりにくいからではないか。 利用条件の具体的な例を示し、制度をわかりやすくするとともに、必要な人に支援が行き届くよう周知に努めること。
	教育総務課	○平成29年度から実施している、「いじめ見のがしゼロ運動」のさらなる推進をすること。
	生涯学習課	○町として、子どもたちが演劇や音楽などの芸術・文化に触れる機会をふやすこと。 ○町指定の文化財を次世代に継承するため、維持・保護について検討すること。
	健康推進課	○特定健康診査受診率の向上のため、今年度新たに人間ドックを追加したが、さらなる受診率向上のため、周知方法を工夫すること。
6月26日(月) ～28日(水) 7月18日(火) 7月20日(木)	教育総務課	○船迫小学校の緊急時の校内放送設備の改修を急ぐこと。 あわせて、町内小中学校について、放送が校内全てに行き渡っているか再点検を早急に行い、不備があった場合は、改修をすること。 ○特別に支援を要する児童がふえていることから、各学校の実情に応じて、特別支援教育支援員の増員を図ること。 ○西住小学校及び柴田小学校の校庭の雨水排水の改善を行うこと。 また、平らになるように整地すること。 ○各小学校のプールで、底部・側部の錆、塗装の剥がれ、プールサイドコンクリートの剥離が見られる。 子どもたちの安全を考え、修繕を急ぐこと。 ○西住小学校では、子どもたちの安全を確保するため、校地内にイノシシが入らないよう、対策をとること。
10月17日(火) ～18日(水)	教育総務課	○各中学校から要望があった次の事項について対応すること。 [船岡中学校] ・校庭排水不良の解消。 ・校庭東側へのフェンス設置と防球ネットの修繕。 [槻木中学校] ・体育館放送設備の修繕。 ・体育館の暗幕とカーテンレールの交換。 [船迫中学校] ・各教室の照明の増設。 ・校庭排水不良の解消と校庭のり面の改善。 ・体育館照明設備の修繕と体育館床の補修。

1月16日(火) ～17日(水) 1月25日(木)	教育総務課	<p>○学校給食センターについては、経年劣化により、改修箇所が多数ある。</p> <p>国の基準も満たしておらず、保健所からの指導もあるが対処できていない。</p> <p>国の基準を満たすには、調理工程ごとに汚染・非汚染・その他の作業区域を部屋単位に区分しなければならないため、今の建築面積の約1.5倍は必要となることから、大規模改修して長寿命化を図るよりも建て替えをすべきである。</p>
---------------------------------	-------	---